

## 1 コミュニティカルテ更新について

### コミュニティ（校区）カルテの必要性

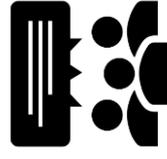
少子高齢化による地域の担い手の減少、共働き世帯の増加等により、全国的に地域における住民同士の交流機会の減少や地域連帯意識の希薄化が進んでいます。そのため、住民同士がお互いに支え助け合い、地域の課題を地域自らで解決していくことの重要性が再認識されています。

このような状況の中で、今後、地域のコミュニティ機能を維持・強化し、活力あるまちづくりを進めていくためには、地域ごとの活力を向上させることが基本となります。このことから、地域の課題を把握し、町と地域が相互に課題を共有するためのコミュニティカルテの作成が必要となります。



#### カルテ作成（区・自治会ごと）

※今回は、前回（H29作成）からの更新です。



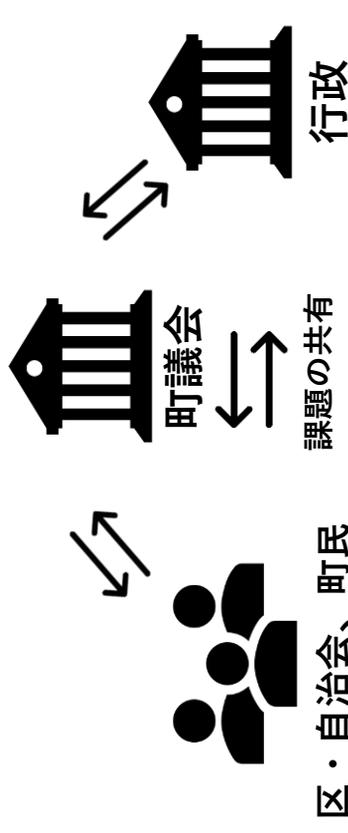
#### 地域で魅力や課題など話し合いのネタに

- ・隣の地域では、高齢者向けのサロンをしてるって！！
- ・小学校区で子どもを中心としたイベントができてへんかなあ？

## 2 自治基本条例出前講座について

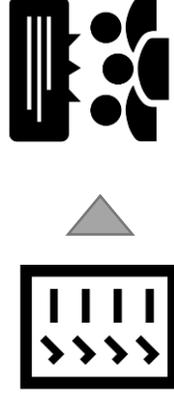
### 広陵町自治基本条例の主旨

町では、令和3年6月に「広陵町自治基本条例」を定め、「参画と協働のまちづくり」を進めています。自治基本条例は、「まちづくりを進めていく上での基本ルールと言われ、一人でも多くの方が理解し、活用していただくことが町が目指す参画と協働のまちづくりにつながっていくものと考えます。



#### 自治基本条例を協働で活用

#### 出前講座の流れ



今回の案内 地域の役員会等で検討

希望する

協働のまちづくり  
推進課へ連絡

希望しない

引き続き  
ご検討ください。

これらを実施することで、区・自治会だけで解決できない課題を広域的に解決できるよう支援を進めます。

第2号様式（第5条関係）

広協ま第34号  
令和4年4月21日

真美一まちづくり協議会  
会長 東 秀 行 様

広陵町長 山 村 吉 由



広陵町まちづくり協議会認定通知書

令和4年4月13日付けで申請のあったことについて、次のとおり認定しましたので、広陵町まちづくり協議会の認定等に関する規則第5条の規定により通知します。

1 まちづくり協議会の名称 真美一まちづくり協議会

2 認定年月日 令和4年 4月21日

### Ⅲ. 真美一地域づくり計画について

#### 1. 真美ヶ丘第一小学校区の地域づくりを進めるにあたって

- ① 地域をよりよいものにするため、自身のまわりでどのような課題があるかを地域住民の視点で検討し、地域が一体となって課題解決に向けて取り組む組織として「真美一まちづくり協議会」を立ち上げ活動してまいります。
- ② 地域に対する住民の要望が多様化・高度化する中で、「真美一まちづくり協議会」を通じ、住民と町による「協働」によって地域の意見をまとめながら、地域課題を効果的に解決してまいります。
- ③ 地域の身近な課題を解決するために、「真美一まちづくり協議会」において単独に活動している各種団体などがまとまり、地域全体の意見を出し合い、連携・協力して活動し、今以上に地域住民の要望に的確に応えてまいります。

#### 2. まちづくり協議会を通じた地域づくりの目指すところ

安心で安全なまちづくりを目指します  
高齢者が住みよいまちづくりを目指します  
子どもの居場所づくりを目指します  
環境にやさしいまちづくりを目指します  
教育・文化によるまちづくりを目指します

- ① 地域の現状や課題の話し合いを行います。
- ② 課題解決のために、地域づくりの目標に向け、課題解決のための取組を段階的に行います。
- ③ 将来の地域づくりのため、毎年を取り組みの評価を行い、次年度の取り組みへ反映します。

#### 3. 取り組み方法

- ① 真美ヶ丘第一小学校区の地域づくりの取り組みでは、まちづくり協議会を構成する自治会、各種団体が連携・協力し、会員（地域住民、団体等）の参加を得て実施します。
- ② 取り組み実施にあたっては、自治会、各種団体間で適切に役割を分担します。また、広陵町の関係部署との連携、協働を図ります。
- ③ まちづくり協議会は、組織化によって会員（地域住民、団体等）に強制的な活動を要請しません。



ホーム

暮らしの情報

行政情報

施設・公園

観光・イベント

事業者の方へ

ホーム > 行政情報 > 町の総合計画 >

## 【多くの意見をいただきました！】第5次広陵町総合計画策定に係る各中学生ワークショップ及びポスターセッションの結果について

[2022年1月19日] ID:5213

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

シェア

ツイート

### さまざまな方から意見を聞いています

5年後、10年後の広陵町が引き続き住みよい町であるために、令和2年度から2か年で第5次広陵町総合計画（以下「計画」という。）を策定をしています。総合計画は、自治体の最上位の計画であるため、計画策定に当たり、さまざまな立場の方から意見を聞いています。

### 広陵・真美ヶ丘両中学校生徒会でのワークショップについて

このたび、広陵中学校及び真美ヶ丘中学校生徒会の皆さんに広陵町のイメージと特徴を整理し、どんな広陵町になれば誇れるようになるか、そしてその誇れる町にするには自分たちがどのように行動するべきかワークショップを通じて考えていただきました。

「安心」、「落ち着く」、「公園が多い」などの良いイメージがある一方で、「夜が暗い」、「道が狭い」、「大きいスーパーが遠い」といった意見が出ました。

良いところであれば「さらに伸ばす」には、悪いところであれば「改善する」には、どうすればいいか、また自分たちで何ができるか考えていただきました。

- 安心・・・見守り活動（立哨）を行う、交通ルールを守る
- 夜が暗い・・・一人にならない、明るい服を着る
- 道が狭い・・・街灯や信号を増やす、歩道と車道を区別する

生徒皆さんの意見は下記資料1をご覧ください。



広陵中学校生徒会



真美ヶ丘中学校生徒会

#### 資料1

 [中学生ワークショップ \(サイズ:1.21MB\)](#)

### ポスターセッションについて

12月23日から1月6日まで、WEB(町HP)、さわやかホール、広陵中央公民館、広陵町立図書館、はしお元氣村、イズミヤ広陵店、エコール・マミ、グリーンパレスにおいて、さまざまな方から意見をいただくため、ポスターセッションを実施しました。



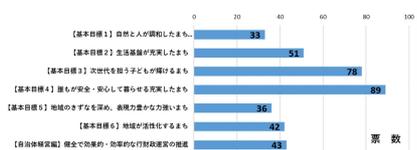
エコール・マミにおけるポスターセッション

#### 重要と思う基本目標

将来の広陵町がよくなるために重要と思う基本目標をシールで貼り付けてもらいました。総数は372票で、1番回答が多かった目標は「誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち」(89票)で、2番目は「次世代を担う子どもが輝けるまち」(78票)でした。

また、「将来広陵町がこうなしてほしいな」と思う「理想像」、そしてその理想像の実現に向けて「ご自身ができること」を意見としていただきました。

これらの結果は下記資料2をご覧ください。



[別ウィンドウで開く](#)

#### 資料2

[ポスターセッション \(サイズ:1.12MB\)](#)



PDFファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、[Adobe社のサイトから Adobe Reader をダウンロード\(無償\)](#)してください。

#### パブリックコメントの実施について

現在、総合計画及び人口ビジョンの素案についてパブリックコメントを実施しています。皆さまからの意見を募集していますので、ぜひご覧ください。

詳細は[こちら\(別ウィンドウで開く\)](#)(パブリックコメントは令和4年1月25日まで)。

【多くの意見をいただきました！】第5次広陵町総合計画策定に係る各中学生ワークショップ及びポスターセッションの結果についてへの別ルート

[ホーム](#) ▶ [新着情報](#) ▶

[ホーム](#) ▶ [各課の窓口](#) ▶ [総合政策課\[庁舎2階\]](#) ▶ [お知らせ](#) ▶

- [サイトマップ](#)
- [サイトのご利用について](#)
- [個人情報の取り扱いについて](#)
- [アクセシビリティガイドライン](#)



**広陵町** 〒635-8515 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷583番地1 開庁時間：午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日を除きます)  
電話：0745-55-1001 ファックス：0745-55-1009 E-mail: [info@town.koryo.nara.jp](mailto:info@town.koryo.nara.jp)



Copyright (C) Koryo Town All Rights Reserved.

## ■実施の趣旨

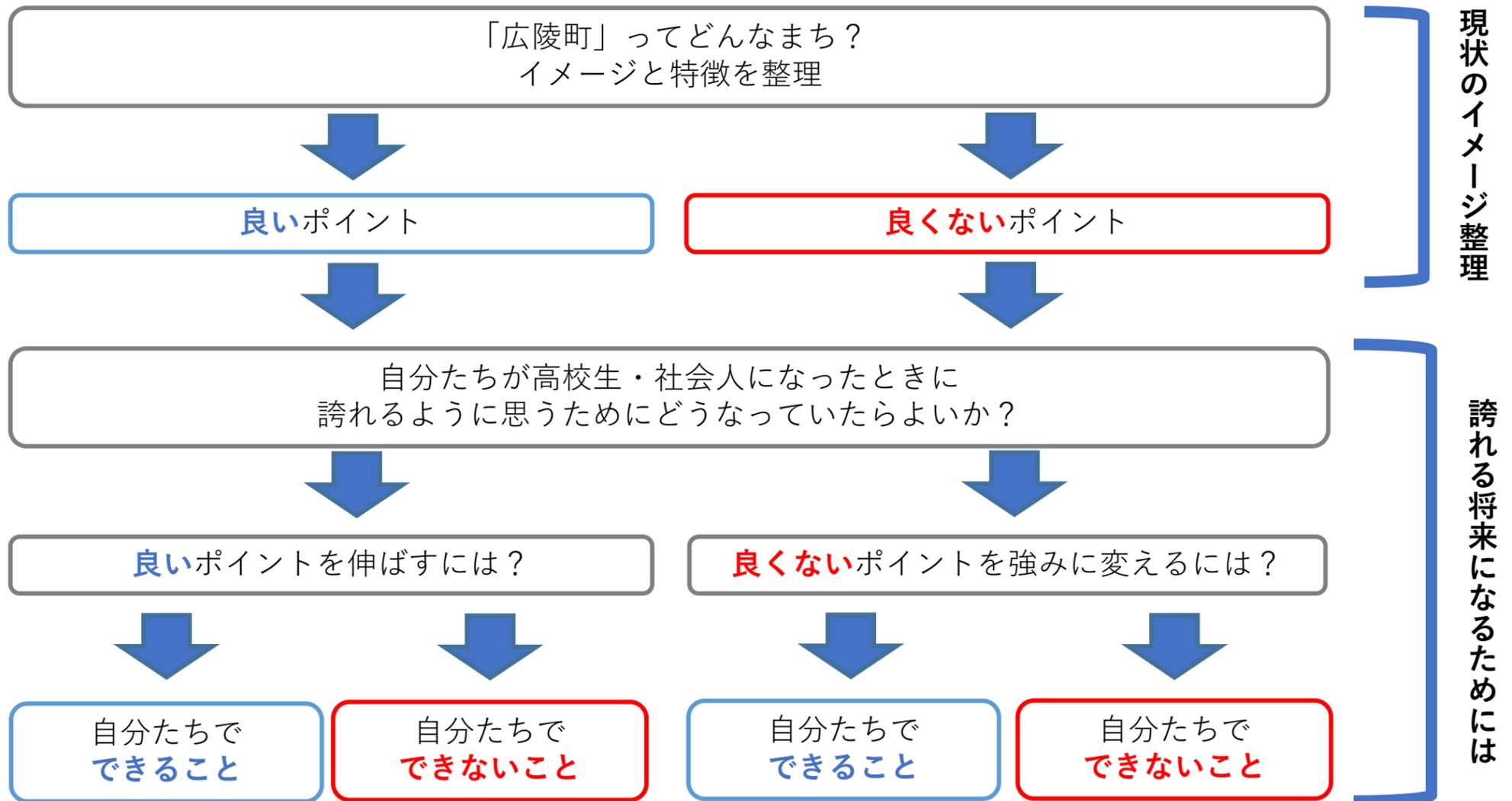
現在策定中の総合計画において、前期計画終了時（4年後）に高校生、基本構想期間終了後（12年後）に多くの方が社会人になる現在の中学生に対して、現在それぞれが持っている「広陵町のイメージや特徴」、「広陵町の良いポイント」、「広陵町の改善ポイント」についてワークショップを実施し、4年後、12年後にどのような町になっていたら自分たちが誇れるのか、を考えてもらう機会とした。

## ■ワークショップ内容

町内公立中学校2校の生徒会の皆さんとワークショップを実施した。

12月 9日：真美ヶ丘中学校

12月14日：広陵中学校



真美ヶ丘中学校 生徒会のみなさん

広陵中学校 生徒会のみなさん



## ★広陵町のイメージ（良いところ）

- ・ 住みやすい
- ・ コンビニが近い
- ・ スーパーを含む店が多く、充実
- ・ 施設の設備が整っている
- ・ 交通の便がとてもいい
- ・ 元気号！！
- ・ 特産物おいしい
- ・ 靴下が有名
- ・ かぐや姫のイメージ
- ・ みんな親切
- ・ ボランティアに積極的
- ・ スポ少などの地域が運営している団体が多い
- ・ 地域の人々の仲が良い
- ・ 地域の人が見守ってくれている
- ・ 地域交流が深い
- ・ 周りの人がたくさん話しかけてくれる
- ・ 公園が多い
- ・ 公園が小さい子でも遊びやすい
- ・ 安心
- ・ 落ち着く
- ・ 明るい
- ・ 楽しい
- ・ やさしい
- ・ 家が多い
- ・ 自然豊か
- ・ 奈良県内で町の面積が広い

## ★広陵町のイメージ（良くないところ）

- ・ 夜が暗い
- ・ トイレがきたない
- ・ 駅が少ない
- ・ 道が狭い
- ・ 歩道がない道が多い
- ・ 誰でも使えるバスケットゴールがない
- ・ 田んぼが減っている
- ・ 子どもなどが遊べる場所が少ない
- ・ 高田川が氾濫すると洪水が心配
- ・ 野良猫がいる
- ・ 生き物などが少ない
- ・ 大きいスーパーが遠い
- ・ ゲーセンがない
- ・ 習い事などの施設が少ない
- ・ 学校を休んだ人が学習の遅れをとらないようにクロームブックで授業を配信してほしい

## ★将来どうなっていたらよいか（良いところ：さらに伸ばす、良くないところ：改善する）

- ・ 公園のトイレをきれいに（変質者対策）し、防犯カメラなどをつけ、安全性を高める
- ・ 公園などのグラウンドにバスケットゴール(サッカーや他のスポーツのもの)を設置
- ・ いろいろな年代の人が遊べる公園になってほしい
- ・ 緑が増えてほしい
- ・ 道路整備をし、街灯や信号を増やす
- ・ ガードレールなどで、歩道と車道を区別させる
- ・ 歩行者信号が青の時、音が鳴るようにしてほしい
- ・ 交差点付近の木が伸びて見通しが悪くなっているため定期的に切ってほしい
- ・ 駅に行きやすくなってほしい
- ・ 障がい者向けの施設が少ないため、支援学校を増やしたり、ろう・もう学校へ行くバスを整備する
- ・ 地域の団体が活動しやすいように設備を整ってほしい
- ・ 足りない施設は他の市町村から借りる
- ・ 綺麗なところだけではなく、汚いところにも目を向ける
- ・ みんなが使う施設に魚などの生き物の水槽などを設置し、ふれあえるようにする
- ・ 野良猫にえさを与えない。また、保護施設があるといい
- ・ 大型ショッピングモールがほしい
- ・ 同業者のお店を近くには立地させない
- ・ かぐや姫や靴下などを県外の人にも認知してもらい、有名になってほしい（SNSで発信するなど…）
- ・ 伝統的な文化を増やす
- ・ コストコ来てほしい
- ・ そのままであってほしい
- ・ いろいろな年代の人で見守りができるようになったほしい
- ・ 休んでいても授業が受けられるようになってほしい
- ・ 他の中学校との交流を増やしてほしい

## ★自分たちができること

- ・ 公園で一人にならない（大人数）
- ・ 夜は公園に行かない
- ・ トイレを掃除する
- ・ 緑を増やすためガーデニングをしてみる
- ・ ライトを持ち歩く
- ・ 暗くなる前に帰る
- ・ 夜は明るい色の服を着る
- ・ 交通ルールを身に付ける
- ・ 互いに交通ルールを守る
- ・ バス停にマップ（わかりやすい）を貼る
- ・ 駅への行き方を教えられるようになる
- ・ 町の靴下を買うようにする
- ・ 広陵町以外に住んでいる友達にお勧めしてみる
- ・ まずは自分たちが体験して体験談をいろんな人に伝える
- ・ 見守り活動を自分自身も行い、親にすすめてみる
- ・ 地球温暖化について考える
- ・ 省エネを心がける
- ・ 中学生同士の交流の場があるといい。生徒会同士が交流したり企画してみんなの交流の場を広げる
- ・ インターネットショッピングを使う
- ・ 自治体ごとに高齢者の人たちの注文を受けて買いに行く（おつかいのボランティア）

## ■実施の趣旨

現在策定中の総合計画において、町民の皆さんから意見を広く出していただくよう、公共施設や町内商業施設において、パネルディスカッションを行いました。

## ■ワークショップ内容

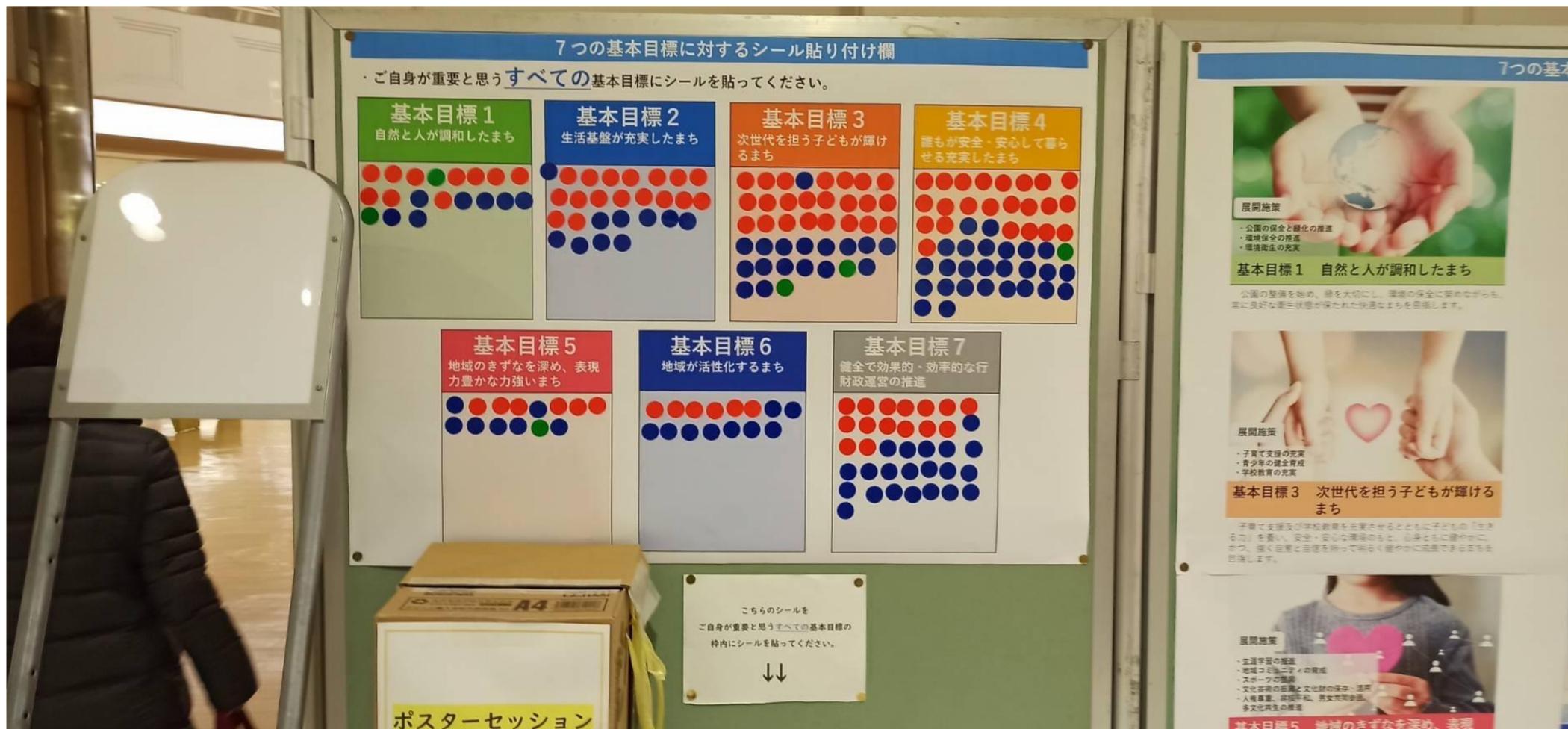
実施期間 12月23日～1月6日

実施場所 さわやかホール、広陵中央公民館、広陵町立図書館、はしお元気村  
グリーンパレス、スーパーセンターイズミヤ広陵店、エコール・マミ



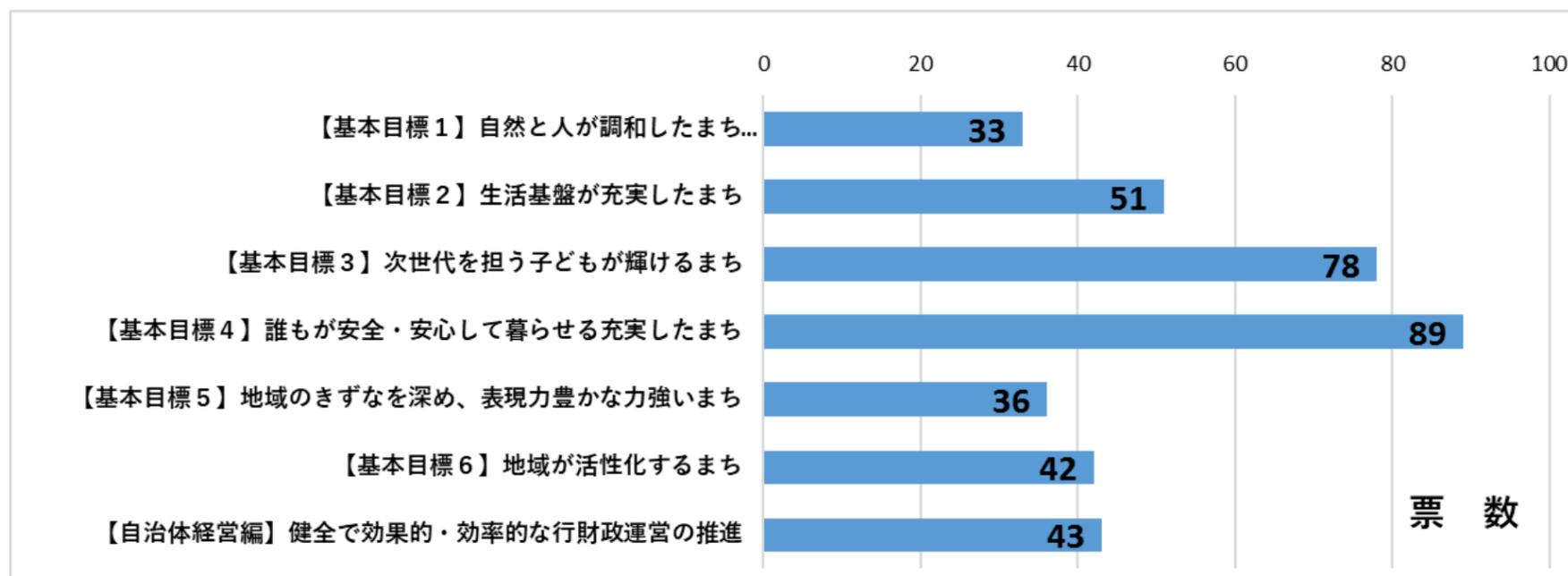
総合計画の概要、人口ビジョンによる将来の人口推計、アンケート調査結果などを貼りだした上で、将来の広陵町において、どの施策が重要だと思うか、また、具体的にどんな事業を行うのが良いか、意見を求めました。

## ▲ 広陵町立図書館でのポスターセッション



## ▲ エコール・マミでは、多くの方にご参加いただきました

## ★「将来広陵町がよくなるために重要と思う基本目標（複数回答）」



## ★「将来広陵町がこうなってほしいな」と思う「理想像」

- ・上下水道、生活基盤が堅い、安全安心な町(防犯の面でも)  
特に子供たちが元気にのびのびと育てられる公園があり、にぎやかな声が聞こえるような緑豊かで、鳥などの生き物も住みやすい町
- ・ムーンショット計画に基づいたデジタル田園都市の実現のためのIT企業の誘致をする
- ・環境都市として情報発信ができる町  
再エネ導入を支援して電気代無料を実現する町
- ・自然の良さを活かし、このまま残して欲しいと思います  
また、田や畑も残せるよう農業をされている方々への支援も必要だと思います  
交通の便や買い物の便については地域によって差があるので高齢者が増えていく中で対策を考えていただきたいと思います
- ・すべての人が楽しく笑顔で過ごせる町  
助け合いが自然にできて人と人のつながりがしっかりある町
- ・高齢者が住みよい町
- ・今のままでいいと思います
- ・老後も安心して、車なしでも買い物に行けたり(バス・タクシー)、いろんなサークル活動のようなものも開いて欲しい
- ・環境が美しい、放置家屋がない、人とのつながりがある
- ・公園がきれいでうらやましいです、お世話大変ですがご継続ください
- ・年をとって手助けが必要になればサポートしてほしい、出来るだけ安い金額で
- ・町が活性化する方策を常に考え、他の市町村がうらやましくなるような町になって欲しい
- ・近鉄電車にはたらきかけて五位堂駅と田原本駅の間に鉄道をひき、グリーンパレス、広陵町役場近くに駅を作る、そこに大型商業施設を持ってくる、そうすれば人口も増え、町が活性化する、予算については知恵を絞る、お金の余っている人はたくさんいる
- ・バスの運行数を増やして欲しい、色々な海外の国と連携をとって文化を交流し、お互いを知り、広めたい
- ・SDGsに専念して先進都市(町)を目指す、地場産業の取り組みを全国にアピールしてモデルとなること
- ・衣食住+α【アートで音楽が溢れる町】音楽やアートに触れることで赤ちゃんからお年寄りまで心が豊かになるそんな素敵な町になったらいいなあ  
ライブ、展覧会など、どんどんイベントを開いて制限なく街中で踊り出すぐらいに自由にみんなが感性豊かに暮らしていけたらきっと楽しいはず！  
特に子どもたちには衣食住以外の楽しさを知ってほしい
- ・土地の坪単価が高い割に若い世代向けの補助金はなく、特に住宅に関しては親世代が町内に居る前提の補助金のみであり、新しい人を受け入れる前提はない町と感じた

- ・高齢になっても、認知症になっても地域で安心安全に暮らせるまち  
子どもも高齢者も、みんながいきいきと、お互いを認め合い理解しあえるまちになればいいなと思います
- ・元気にずっと住めるような地域との繋がりがあり交通機関の使い勝手が良く、自らやりたいことが亡くなるまで出来るような町  
子どもが大人を疑わなくても生活出来るような安全、安心な町
- ・1) コア事業を作り、雇用が創出され、新たな事業を継続し、発展できる町  
2) 町内に小中、高校、大学があることを強みにして、人材育成基地となる町  
3) ベッドタウンと在来地区を有機に融合する町  
4) 住む人にとって忘れられない「ふるさと」となる町  
5) 役場職員と住民との連帯感が強い町  
現時点、役場が挙げた基本目標には、広陵町この地で自ら持続可能な事づくりや人づくりの要素がほとんど感じられない、従来の他力本願や一般的な言葉にとどまっている感が強い

## ★実現するためにご自身ができること

- ・住宅の敷地内に木を植える、近所の人には挨拶をして声をかける
- ・IT企業の誘致に力を尽くしたい、住宅屋根にPV+蓄電池を導入する(導入済)
- ・日々の生活に追われ自分のことだけを考えてしまいがちですが、子供たちのために今だけがいいのではなく、これからのことを考えていきたいと思っています  
私も含め、町のこと社会のことを考える人がもっと増えれば良いと思います
- ・コロナだけでなく、きちんと感染対策をして、会う人にあいさつをしたい  
小さな事でも話題を見つけて話しかけるようにしたい→でない、つながりがなくなってしまう
- ・このセッションが実施されていることをもっともっとPRすべきでした  
この期間は冬休みで目にする事がなかった！
- ・ボランティア等で参加できることがあれば参加していきたい
- ・散歩の際のゴミ拾い(袋は町が提供してください)
- ・健康寿命を延ばし最後まで自分の力で歩きたい
- ・その方策について、色々な場面で発信することかと思いますが、なかなか住民の声は聞きにくいと思われる  
議員さんをお願いすることは苦情としてしか伝わらないことがとても残念です  
広く声を聞くことで何か方策が見つかるかと思っています
- ・企業を誘致して税収を上げる、新しいまちづくりを目指す、優秀な人材を集める  
「いなかの町」で終わらせないために
- ・インスタやTikTokなどのSNSを有効活用する。特に、短めな動画を配信し続ける！！
- ・再生可能な生活物資を消費する
- ・実際音楽を広陵町で教えているが、みんなが楽しく笑顔になっていく姿を目の当たりにして、もっと広陵町で音楽を広めたい！と強く思いました  
演奏できる場所があればいっぱいしたいです!!
- ・地域でもたびたび、認知症高齢者が行方不明になるお知らせをききます  
真美ヶ丘地区は高齢化がすすんでいます  
地域の交流をふやしみんなが気にかける地域になるように協力できたらと思います
- ・1) 「足の健康、美容」産業の創出、フットパークとなる町の企画と実施、特にICTシステム作り、データセンター作りなど  
具体的に、運動やリハビリ前後の足の筋電測定と機器開発、健康や医学的アプリ、スポーツへのサポートアプリとの連携、医学的健康管理用データベースなど  
2) 畿央大学と協業し、エビデンスに基づく病気予防、認知症予防の人材育成施設づくりの協力  
具体的に、1)の実験サポートと健康促進専門家の育成、町民レベルの健康促進の知識と技能の向上へ  
3) 老若男女問わず、町民が歩くだけで実験データが蓄積→健康促進評価→事業→収益の好循環へ上記を総合して、広陵町を「足の健康、美容」産業基地とする企業と人材誘致

ご意見を提出していただいたみなさま、ありがとうございました。

# 「辨財天青年団・自警団」



**秋** 晴れの気持ちいい10月24日、大字弁財天の修繕されただんじりの入魂式が行われ、2年続けて中止となった戸閉祭への想いについて青年団長の篠原悠人さんと自警団長の中川和俊さんにお話を伺いました。

## きっかけは？

**篠原さん**：家族が祭り好きで幼い頃から当たり前のように祭りに参加していました。鐘や太鼓を打つボランティアに参加し、その流れで自然と青年団に入りました。

## 祭りにかける思い

**中川さん**：2年間、コロナによってだんじりの曳き回しができませんでした。祭りの時には、遠方

から地元に戻ってくれる人もいて、祭りがつながりを確認してくれます。代々引き継がれている祭りを若い人たちに継いでもらいたいですね。  
**篠原さん**：団長になったのは、使命があるわけではないです。でも、誰かがやらなければ廃れま



↑「宮元」の字が図案化されています。



↑祭りは私たちが守り継いでいきます！



もっと自治基本条例を知りたい方は、町ホームページをご覧ください。

今は、開催に向けて準備をしていきましょう。

来年こそは多くの人が集まる祭りができたらええなあ……。

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学ば、自治基本条例講座

～ 伝統を守り継いでいく ～

Vol. 9

懐かし〜

自治

自治さん  
自治基本条例に  
詳しい妖精

イヤイヤ君  
分からないことはつい  
イヤイヤしてしまう

ん？  
何をみるんですか？

昔に撮った  
写真やで〜

自治

祭りがないと季節感とか  
ワクワク感がないわあ〜

イヤイヤ

自治

コロナ禍で大勢集まる  
祭りがなくなりました  
からね…

自治

自治

自治基本条例では、文化財や伝統行事は、町民や町が保護、活動・活用を行うことで、多くの人に知ってもらい、次世代へ継承する必要があることを定めています（第19条2）。

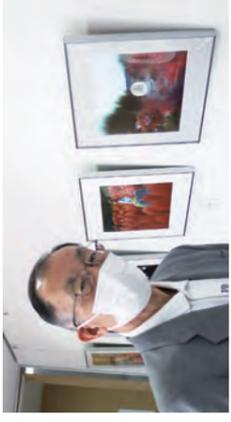
自治

ですが、先ほど  
左ページのような行事が  
ありました。

## 広陵町文化協会



広陵町文化協会 絵画部



広陵町文化協会 会長 林原 延雄さん

まちづくりにおける住民参画には、多様な手段が考えられます。文化協会は、会員の想いが込められた作品を一人でも多くの方に鑑賞していただくことで、作品を通じた文化芸術あふれる豊かな地域社会の実現をめざしています。毎年実施し、今夏も出展したエコロール・マミでの展覧会では、コロナ禍だからこそ、みちゆく方々の心に届くようにとの想いで、会員各自がそ

### 展覧会を きっかけとして 人のつながりを

文化芸術の分野から住民同士のつながりに向けた活動をされている広陵町文化協会会長の林原さんに日頃の活動や想いをお聞きました。



はしお元氣村で展示されている作品



文化協会書道部 役場ロビー一展

### 作品展示は いたるところに

会員がそれぞれの想いを込めて制作した作品を、役場町民ホールやはしお元氣村、クリーンセ

それぞれ得意の分野で個性豊かに感性と技術を生かした絵画・写真の作品が展示できました。

この展覧会は、今後も継続していきたいと思っています。

### これからの想い

今年から、文化協会のフェイスブックを立ち上げました。

今まで以上にメンバーと親近感をもって、情報交換や情報発信にチャレンジしていきたいです。

ンター広陵などで展示しています。

各施設へお立ち寄りの際は、一度立ち止まっていただき、個性豊かな作品を見ることで心落ち着くひとときを堪能してください。

また、コロナ禍で広陵中央公民館での活動人数が制限されるなか、講師による指導のもと和気あいあいと作品づくりを行い、すべてが満足のいく作品ではないものの、時には気に入った作品が完成し、充実感を得ています。

もっと自治基本条例を知りたい方は、町ホームページをご覧ください。



皆さんも趣味や楽しみを通じて人のつながりを増やしてみはどうでしょうか。

作品を見てもらうことでよりやる気がでたりするな〜

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

## 自治さんと学ば、自治基本条例講座

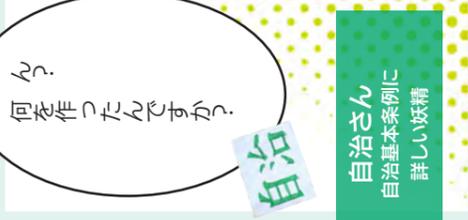
～ 作品を通じて人とのつながりで「いい町」づくり ～

Vol.10



この絵を描いて〜

ウマっ!?  
広陵町は  
イヤイヤ君のような  
芸術肌の方が  
多いですね！



ん？  
何を作ったんですか？

自治さん  
自治基本条例に  
詳しい妖精



ええもん  
できたわ！

イヤイヤ君  
分からないことはつい  
イヤイヤしてしまう



文化芸術は  
心を豊かにします！

他にも左のページのように  
素敵な活動をされている  
方がいます！

芸術作品を創作することで、心が豊かになります。また、作品を通じて人とのつながりが生まれ、コミュニティが形成されます。



真美ヶ丘中学校生徒会の皆さん



広島中学校生徒会の皆さん

### 目的

中学生の多くは、12年間の計画期間中に高校生、大学生、社会人へとなります。ワークショップでは、町の現状を整理し、その後より住みや

**現**在、広島町では、将来のまちづくりを計画する、第5次広島町総合計画を策定しています。このたび、両中学校の生徒会の皆さんにまちの将来を考えてもらうため、ワークショップを実施しました。

### 広島中・真美ヶ丘中 生徒会



ワークショップの様子。上写真が真美ヶ丘中学校生徒会で下写真が広島中学校生徒会

### 町のことを真剣に

当初は、何を話し合っ  
ていか考え込む場面も  
ありましたが、徐々に自  
分たちの意見を言い合  
い、自分たちで考えられ  
ること、行動できること  
が何かを考えました。

「夜が暗くて危ないな  
らライトを持ち歩いた  
り、明るい服を着たら

すく暮らしやすい町に  
するため、また、誇れる町  
にするためには町がどう  
なっているか話を  
話し合いました。

### これから

ワークショップを行っ  
た後のアンケートを見る  
と、「広島町がこれから  
どうしていくのか分か  
った」「興味を持つこと  
ができた」「地域の人々  
が暮らしやすくなるた  
めには自分たちにでき  
ることがたくさんある  
と気づいた」といった  
意見がありました。

これからの町を考  
えていくには子ども  
たちの意見が必要不可  
欠です。すべての人  
が共に住みよい、暮  
らしやすい町をつ  
くるために、皆さん  
もまちのこと、考  
えてみませんか。

良いよね」「駅が少  
ないし、行きやすくな  
るためには、バス停に  
マップを貼ったり、も  
っとバスや電車などの  
公共交通に乗ればい  
いね」など、将来の  
広島町が良くなるよう  
真剣に議論してもら  
いました。



皆さんもまちのことを  
考えてみませんか？

両中学校生徒会の皆さん  
の意見及び公共施設や町  
内商業施設で実施した  
ポスターセッションの  
意見を町HPに掲載して  
います！

みんな、まちのことを  
真剣に考えているんや  
なあー



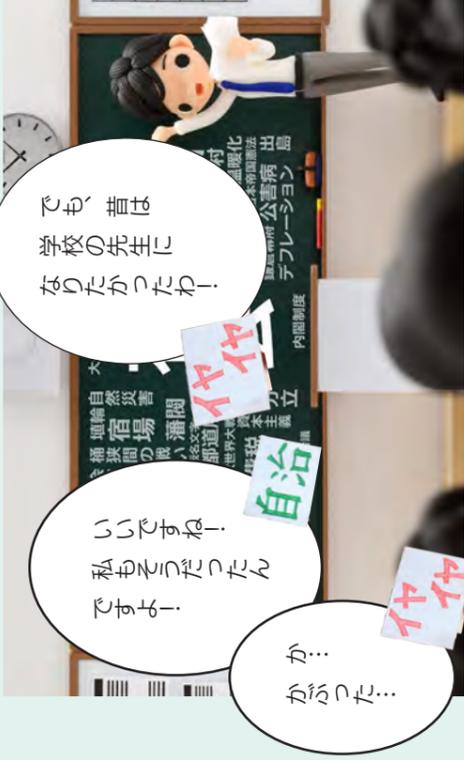
もっと自治基本条例を  
知りたい方は、町ホーム  
ページをご覧ください。

「広島町自治基本条例」って知ってる？

## 自治さんと学んで自治基本条例講座

Vol.11

～町の未来を自分たちで！～



でも昔は  
学校の先生に  
なりたかったわ！

いきなりやな？  
せやな！

いいですねー  
私もそこだった  
ですよー

か？  
かぶった！

イヤイヤさんは  
昔なりたい職業って  
何かありましたか？

イヤイヤさん  
分からないことはつい  
イヤイヤしてしまう



子どもたちの未来は、無限の  
可能性が広がっています！

俺たちはその可能性を  
広げられるように  
頑張らなあかん！

自治さん  
自治基本条例に  
詳しい妖精



子どもは地域社会の一員として尊重され、  
健やかに育つ権利があります（第7条1）。  
大人には、子どもがまちづくりに参加する機会  
を充実させる必要があります（第7条2）。

※広島町自治基本条例から抜粋

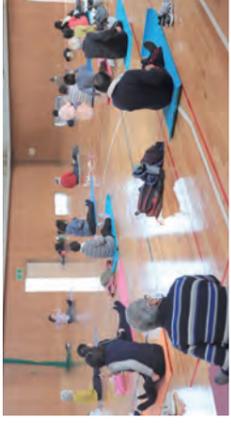


子どもの可能性を広げるた  
めに、子どもの意見を聴く  
ことも重要です。ね。  
今回は、広島中・真美ヶ丘  
中の生徒会の皆さんにシア  
リングをしました。

# 広陵元気塾参加者



2月8日に開催された広陵元気塾に参加された方々



広陵元気塾の様子

広陵元気塾に参加し、健康づくりをされている方に、お話を伺いました。

## 参加のきっかけ

「申込不要で無料であること、運動をしつかりとしたことがなかったのでしてみようと思いました」

「適度な運動をしたいと思って、最初は個人で参加しました」

参加していくうちに近所の方と一緒に参加することで、継続できるようになったそうです。

## コロナ禍での変化

「何よりも旅行に行けなくなったのが残念なこと。」

「近所付き合いなど交流が減ってしまったのも

辛いですね」

そんな中、令和3年度から広陵元気塾が再開しました。

「本当に再開して良かったです。中止していたときは動画配信もありましたが、周りに一緒にやらないと続かないし、張り合いがないですね」

「やはり指導者が前にいないと張り切れないです」

## 今後の活動

「元気塾がもっと活発になるよう、知り合いに

声をかけて参加してもらいたいですね」

「男性の参加率が低いんです。やはり最初の一歩が難しいのかな」

元気塾の広報や周知は町がするべきでしょうか、との問いに「きっかけは参加している自分たちだと思います」

「でも、インドアだけでなく、公園などで元気塾をしてもらえるとみんな参加するかも」とのこと。

地域活動や近所付き合いが減ってしまっている中、広陵元気塾は人々の交流の拠点となっているようです。

3月の広陵元気塾についてはP21をご覧ください。



もっと自治基本条例を知りたい方は、町ホームページをご覧ください。

自治

伊ヤ

それがコミュニティ・地域活動につながるんです！

まずは、考えてやってみる！そして、同じ思いを持った仲間を増やしていく！

なるほどな〜どんなことでもまちづくりにつながるんやな！

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学べ、自治基本条例講座

～ それぞれができることを！～

Vol.12

## あらすじ

「自治基本条例って何？」「難しそう…」初めて自治基本条例という単語を聞き、そう感じる人も多いと思います。そこで、普段からまちづくりに疑問や悩みを持つ「イヤイヤさん」と一緒に、この条例に詳しい「自治さん」からお話しを聞きましょう。また、自治基本条例に関わりのある皆さんの活動もご紹介します。



本当にそうでしょうか。

1年間、色々な人の活動を見てきたけど…

ここで紹介している人って団地で頑張ってる人ばかりやんな？俺、そんなに頑張れるかな…

自治さん  
自治基本条例に  
詳しい妖精

イヤイヤさん  
分からないことはつい  
イヤイヤしてしまう

## 自治とは!! 自ら始めること!!

団体に所属していなくても、家族や友人、自分自身でそれぞれができることがあります！

## ごみについて、それぞれができることは？



行政ができること

ごみを集めて、正しく処理



地域でできること

クリーンキャンペーンやつゆほりなど、みんなでき清掃



家族でできること

家周辺のごみ拾い



個人でできること

ごみをごみ箱に捨てる  
ごみを決められた日に出す

写真は全てコロナ禍前に撮影したものです。



おはなしぼけブックマトメンバーの皆さん

# おはなしぼけブックマト



ペーパーブックマト (子ども向け紙人形劇)

**主**に、毎週土曜日に真美ヶ丘体育館や小学校、幼稚園、子ども会、作業所などで絵本の読み聞かせボランティアとして活動されている「おはなしぼけブックマト」(現在コロナ禍のため活動は縮小)。

今回は、メンバーの皆さんに活動を始められたきっかけや今後の想いを伺いました。

## 活動を始めたきっかけ

「現在の活動は、子どもに絵本の楽しさや面白さを伝えたい、というのがきっかけで始めました。最近では読み聞かせだけでなく、絵本の世界を観て楽しめるよう大がかりな人形劇を開催することもあります。『子どもに楽しんでもらうには、まず自分たちから』とい

う想いで、自分たちも楽しんで活動しています」

## 今後の想い

「メンバーをもっと増やしたいですね。保護者の皆さんが運営側になってくれば、流行りのものを取り入れることができ、もっと幅広い活動ができると思います」

後継者不足が課題の「おはなしぼけブックマト」。



特別なおはなし会では、大掛かりな人形劇や光る蝶々などの演出で会場を驚かせました。



紙しばいを使った読み聞かせの様子



「1年間説明してきましたが良かったです！皆さんの活動も私は応援します！」



「1年通してまちづくりについて分かってきたわ！俺もいろいろ活動を始めよう！」



もっと自治基本条例を知りたい方は、町ホームページをご覧ください。

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学が自治基本条例講座

～ まちづくりの第一歩 ～

Vol.13

## あらすじ

「自治基本条例って何?」「難しそう!」「初めて自治基本条例という単語を聞き、そう感じる人も多いと思います。そこで、普段からまちづくりに疑問や悩みを持つ「イヤイヤさん」と一緒に、この条例に詳しい「自治さん」からお話しを聞きましょう。また、自治基本条例に関わりのある皆さんの活動もご紹介します。



そうですね！  
「何かをやりたい」想いが  
まちづくりの第一歩です！

今月の特集読んでんけど  
本当にいろんな人が  
いろんな想いを持って  
活動してんねんなあ

それにまちづくりって  
高い志とかが必要で  
自分には難しいこと思ってたんですけど、  
読んでみると自分もたまたまやわ

自治さん  
自治基本条例に  
詳しい妖精

イヤイヤさん  
分からないことはつい  
イヤイヤしてしまう

自治

イヤ

そうしたら  
次のページの  
ような活動に  
参加してみれば  
いいですか？

俺 子どもが好きだから  
先生になりたいと思ってる  
んやけど  
何かそういう活動  
ないかなあ？



4月10日、真美一まちづくり協議会設立総会が開催され、予算や事業計画等すべての議案が承認されました。

協議会のみなさんにまちづくりの想いについてお話をうかがいました。

### よりよい地域をみんなで

元々、地域ではさまざまな団体や個人が地域を良くしようと活動されています。その活動を連携し、活動する皆さんが負担なく、成果が上がるようにしたいと思い、真美ヶ丘第一小学校校区でまちづくり連絡会を立ち上げました。

### 公園の遊具をみんなで

西谷公園の遊具が更新されることから、実際に使う子どもやその保護者にアンケートをとりました。その中で一番子ども

が楽しく、また安全に遊べる遊具を決めることができました。業者や町など一部の人で決めるのではなく、みんなで決めることで公園や遊具に愛着がわくことを期待しています。



### まちづくりをみんなで

協議会では、防災・防犯・環境部会、健康・福祉部会、青少年育成部会、といった3つの部会に分かれ、さまざまな事業をスタートする予定です。だれもが気軽にあいさつし、おしゃべりできる地域になれば嬉しいですね。これまで地域に関わっていなかった人にも、小さなことでもいいので参加、参画してほしいですね。



もっと自治基本条例を知りたい方は、町ホームページをご覧ください。

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学ば自治基本条例講座

Vol.14

～ 地域みんななでまちづくり！～

でも、知り合いたくても、やることが手回らねん...

いいですね！

先月から予備校に野球を教えようと思ってるんですけど...

なあ、自治さん...

イヤイヤさん 分からないことはついイヤイヤしてしまう

もししたんどうですか。

でも、広域で、みんながやらばアイデアやできることが増えるかもしれないですね。

でも、野球はいろんな道具も必要だし、すぐ始めようとしてもなかなか難しいですよ。

やねん！

自治さん 自治基本条例に詳しい妖精



過去に広報紙で紹介して町のさまざまな場面で活動されている皆さん。活動されている方は強い意志や思いがあるように見えます。しかし、実は「まちをきれいにしたい」「まちを盛り上げたい」「まちを良くしたい」という何気ない思いから始まっているのかもしれない。

## まちづくり とは #1

「コロナ禍で地方への流れが生まれているから、まちづくりが大切だ」「少子高齢化の時代、まちづくりは必要となる」  
 昨今、社会情勢の変化により、「まちづくり」を推進する傾向にあります。  
 しかし、そもそも「まちづくり」とは何なのでしょう。か。  
 広陵町自治基本条例第2条では、「時代に沿った、住みよく持続可能な地域社会をつくるための取り組みをいう」と定義しています。  
 つまり、広陵町に「これからはずっと住み続けたい」「関わり続けたい」と思えるようなまちを、みんなでつくっていく、ということです。  
 そして、その取り組みは、町民や事業者の皆さん、NPOや公益的な活動団体、議会や行政などさまざまな主体が連携し、協働して進めることで形成されています。

## まちづくりに 必要なもの #2

「〇〇さんだからできるんだ」  
 「あの人は特別だから」  
 ……  
 そのような思いを抱き、活動したいけれどもなかなか一歩が踏み出せない方もいるのではないのでしょうか。  
 では、まちづくりに必要なものは何なのでしょう。か。  
 崇高な理念でしょうか。または、きつちりとした組織でしょうか。  
 次のページからは、実際に活動されている皆さんがどのような思いで活動されているのかを取材しています。

## 特集

# まちづくりの始まり

近年、コロナ禍や価値観の多様化により、地域活動の担い手が減っています。「〇〇さんだからできるんだ」「あの人は特別だから…」という声も聞かれます。確かに高齢者や女性を中心に働く方が増えており、「無償の地域活動をする必要なんて…」と  
 思われる方はいます。  
 しかし、本当にそういった活動は大変なだけでしょうか。  
 今回の特集は、「まちづくりの始まり」  
 何気ないきっかけ、想いから活動している人々を紹介しています。



### 月1回でも続けていけば #3

「竹取公園は『町の顔』。この公園周辺が空き缶、吸い殻などのごみで汚くなるのが嫌だったんです」  
そう話すのは、うまみラクルの寺田郁夫さん(代表)と奥本浩徳さん。

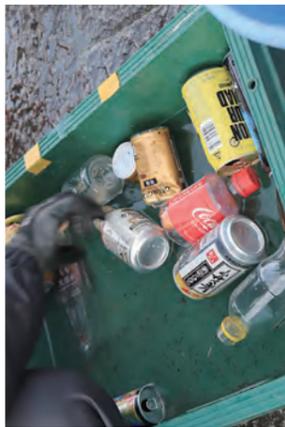
「馬見地域を楽しく清掃する会(うまみラクル)」として活動を始めて6年。  
毎月の活動もすでに70回を超えるまでになりました。  
「月1回でも続けるとまちはきれいになります。町民の皆さんが美化の意識を持ってもらえればと思います。また、途中参加、途中退出OKです。気軽にこの活動に参加してもらいたいですね」  
と奥本さんは話します。また、参加者の方から



午前6時30分に集合し、ラジオ体操をしてから掃除を始めます。



声をかけ、コミュニケーションを取りながら活動されています。楽しく話しながらの活動も魅力の一つです。



集めた空き缶などは水でゆすいで捨てます。



うまみラクルの皆さん。(2/20撮影)

「ごみを拾う人はポイ捨てをしない。活動する人が増えれば少しずつ見える景色が変わってきます」とメンバーの方は話されます。

# 自分たちの町を きれいにしたい。 それがみんなとなら もっと、楽しいねん。

「自分たちの大好きな地元をきれいにしたい」  
大きな志や崇高な理念があるわけじゃない。  
ただ、みんなと楽しみながら掃除する。  
それが私たちのまちづくり。



うまみラクル代表  
寺田 郁夫さん



うまみラクル  
奥本 浩徳さん

側溝に溜まった大量の落ち葉や泥をくみ上げます。このような側溝は、定期的な清掃ができなため、かなりの力仕事です。



「眠たいし、泥のくみ上げは重たいけど、清掃が終わった後はなんとも言えない爽快感と達成感を感じられるので、また行こうってなるんです」という方もおられました。

清掃活動後、参加者がコーヒをふるまい、活動の振り返りや自身の近況を話し合っています。  
無理なくできる範囲で楽しく活動。  
それが長く続けるヒケツかもしれません。

### できることから 一歩ずつ #4

うまみラクル以外にも町内で清掃活動をされている団体・個人がたくさんおられます。  
自身の家の周りだけでなく、知り合いや地域の方々と公園や河川などを清掃することでまちが層輝いていきます。  
また、活動が楽しみになるような取り組みをしていくのもいいかもしれません。  
うまみラクルでは、清



活動後には、メンバーが淹れたコーヒを飲みながらその月の活動の感想や近況報告をします。

九鍊者（キュウレンジャー）

## 地域内のコミュニケーションを豊かにしたい。



九鍊者メンバー（結成当初）の皆さん

※コロナ禍前に撮影



簡単なパソコンの修理も行います。

※コロナ禍前に撮影

### 地域の困りごとを助けたい #6

「地域の公園は、避難所や子どもたちが遊ぶ場所にもなっています。でも、特に夏場は雑草が生えてあまり近寄れないんです」

そう話すのは九鍊者（キュウレンジャー）メンバーの小畑憲さん。

地域で困っていることがあれば助けるのが九鍊者。

「だから、地域で自走



式の草刈り機を購入し、輪番で草刈りをしています」

町内の都市公園は、町シルバー人材センターの方々に草刈りをしていただいています。なかなか全てを回るのは大変です。

そこで、地域の皆さんが自主的に草刈りをしようとして立ち上がりました。

「元々、この団体は、地域で互いに声を掛け合い、地域内のコミュニケーションを豊かにしたいと思い立ち上げまし



機械で刈るので、負担が少なく済みます

た。今度は、雑草で立ち入りにくい地域の公園を地域の人みんなでなんとかしたいと思いました」

地域で助け合おうと集まることで、さまざまなアイデアが生まれています。



草刈り機の運転テスト



竹馬クイズラリー実行委員会の皆さん

竹馬クイズラリー実行委員会

（畿央大学、広陵町、河合町 共催）

## 私たちの活動が お互いを知るきっかけとなり 将来のまちづくりにつながると 思うんです。

### 外出機会のない子どもたちに #5

「あ〜！分かった！」  
子どものうれしそうな声が会場中に響き渡ります。

令和3年12月21・22日に広陵町・河合町の協力のもと、馬見丘陵公園と竹取公園でクイズラリーを実施しました。

「コロナ禍で運動不足や外出を控えている子どもが外で思いっきり運動できたらいいなと思いました」

そう話すのは、畿央大学3回生の植山真智さんと松村理菜さん。



畿央大学 植山 真智さん



畿央大学 松村 理菜さん

「でも、本当の目的は、意外と知らない隣町の子ども同士がお互いのまちを知ることで、仲良くなつてほしいと思つたんです。お互い大人になつたときに一緒にまちづくりができないかなあと思つて」

皆さんも隣の地域、ま



クイズラリーに夢中

ちのことつて意外に知らないのではないでしょう

か。  
近くの顔見知りの関係を増やし、いろんな知り合いを作るこつて養敵ですね。

## 補助金を上手く活用（協働のまちづくり活動チャレンジ提案事業補助金）

### 補助金額

協働のまちづくり提案事業補助金：10万円（1年目）・まちづくり活動チャレンジ提案事業補助金：5万円（1回限り）

### 利用までの流れ

- 1 町ホームページから申請書をダウンロードし、申請書類に記載
- 2 メールや持参により受付  
募集期間：4/1～5/27
- 3 6月下旬にプレゼン  
審査を実施します。

問 企画政策課（4/1～協働のまちづくり推進課担当） ☎（55）1001



詳細はこちら

# あなたの「何かしたい」想いが まちづくりの始まり。



藤山 久仁子さん  
(おしゃべりサロン南郷)

## 活動の内容

コロナ禍の今は、メンバーの皆さんが高齢者宅を順次回り、見守りも兼ねてお話を聞いたり活動をしています。



## きっかけ

南郷区の高齢者の皆さんがおしゃべりできる場を提供したいと思いを上げました。コロナ禍で現在は難しいですが、また再開したいですね。



篠原 悠人さん  
(辨財天青年団)

## 活動の内容

善尾地域で伝統的な祭りである戸閉祭で、地域の祭りをを行う時に青年団および自警団の取りまとめを行っています。



## きっかけ

元々お祭り好きでもあり、社内の「宮元」である辨財天青年団として、地域の伝統的な祭りを受け継いでいきたいと思いました。



吉川 英敏さん  
(六道山区ファミリー農園)

## 活動の内容

六道山区にある遊休農地を生かして保存のきく作物を栽培し、いざという時の備蓄にしたり、地域の高齢者にお届けしたりしています。



## きっかけ

地域では子ども会がなくなり、子どもにも収穫体験してもらうなど、地域内の世代間のつながりを持ちたいと思います。



新谷 眞貴子さん  
(NPO 法人家族・子育てを応援する会)

## 活動の内容

「親子の笑顔を見たい」という想いで、専門職のスタッフが、乳幼児の親子が楽しくほっとする広場を対面やZoomで開催しています。個別の相談にも乗っています。これからも、地域の皆様とつながり、子育てを共に応援していきます。



令和元年子育てフォーラムin広陵  
※コロナ禍前に撮影

## きっかけ

あるとき一人でとても困っている乳児のお母さんと出会い、「子育てを応援したい」、「地域に子育てを応援する人を増やしたい」と思い、仲間と共に活動を始めました。



東 昭子さん  
(花いっぱいクラブ)

## 活動の内容

西谷公園を花いっぱいにして公園に来られた方に目で楽しんでいただければと思い、近所の方と集まってボランティアで活動しています。



## きっかけ

西谷公園が現在防災公園としてリニューアルしている中で、いろんな世代の方に来てもらうため、公園全体を地域の拠点としてきれいになりたいと思い、始めました。

## 今

ご紹介した皆さんは、「何かしたい」という何気ない想いから仲間を集め、それがきっかけで大きなまとまりとなり、団体の活動となりました。

「役場から補助金をもらえるから」「みんなに良い活動していると思われたいから」というのではなく、「何かしたい」という想いが広陵町のまちづくりにつながっています。

これまで当たり前にな

と人が触れ合っていました。現在は少子高齢化、価値観の多様化、また新型コロナウイルス感染症の影響により、活動することが少なくなっていました。

そして、これらが原因で地域やコミュニティにおける活動の継続が難しい状況でもあります。

しかし、人と人との想いが少しずつ、つながり合うことで、1+1が2ではなく3にも4にもなり、さらにその想いはさまざまに人へつながっていくことでしょう。

「あなたの「何かしたい」想い。その想いを少しずつ形にしていきませんか。」

## 協働事業

No.	1	事業名	自治連合会等活動推進						
部名	市民部	課名	地域づくり推進課・各出張所・行政センター						
総合計画上の位置付け	章	第1章	市民生活			展開方向	①	地域活動の推進	
	基本施策	1-01	地域コミュニティ、交流（地域間交流）				地域住民に対し、奈良市自治連合会と協働して、防災防犯、高齢者支援、子どもの見守りといった様々な地域コミュニティ活動への参加を促し、住民の地域コミュニティへの帰属意識向上に努めます。		
	施策	1-01-01	地域コミュニティの活性化						
相手方の名称	奈良市自治連合会、各地区自治連合会			協働事業の実施手法		補助・助成			
実施の時期	通年			事業開始年度		-			
令和3年度事業費	予算額	14,994		決算額	(単位：千円)				
事業の概要・目的	地域の対話促進及び地域コミュニティの推進に必要な取組みを行う奈良市自治連合会及び各地区自治連合会へ交付金を交付するとともに、各地区の担当職員である「地域づくりコーディネーター」が地域活動の支援を行う。								
目標指標	指標名	自治会加入率							
	単位	%	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
		目標値	78.0	79.0	80.0	72.0	72.0	70.0	
実績値	75.1	74.1	72.9	71.4	69.7				
令和3年度実施計画	奈良市自治連合会及び各地区自治連合会へ交付金を交付するとともに、各地域を担当する「地域づくりコーディネーター」による地域活動への支援や、地域の各種団体が連携・協働する「地域自治協議会」の設立に向けた取組みを行う。また、令和3年度より、設立2年目以降の希望する地域自治協議会に対し、地域活動推進交付金と自主防災・防犯組織活動交付金を一括して交付する。								
今後の方針	拡大、縮小、廃止の理由								



令和3年度事業評価	協働の原則に基づいた評価項目							行政の評価	協働相手の評価	
	対等性	お互いに上下の関係ではなく、パートナーとして対等な関係を保つことができましたか。								
5 ← ← → → 1 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ できた 少しできた どちらとも言えない できなかった	相互理解	お互いの立場や特性を理解し尊重したうえで、役割を明確にして取り組むことができましたか。								
	自主性尊重	(行政) 協働相手の長所を活かし、協働相手の自主性を尊重することができましたか。							/	/
		(協働相手) 自分たちの強みや得意分野を活かして取り組むことができましたか。								
	自立化	(行政) 協働相手の自立化を進められましたか。							/	/
		(協働相手) 行政に依存することなく、自分たちの力で取り組むことができましたか。								
	目的共有	協働相手と目的を共有することができましたか。								
	相互補完	お互いの特性を踏まえ、補い合いながら取り組むことができましたか。								
	公開	協働事業の取組経過や成果について、それぞれがわかりやすく情報発信することができましたか。								
	相互変革	協働を通して「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という姿勢や意識を持つことができましたか。								
	期限設定	事業の達成目標を明確にし、適切な期間を定めて取り組むことができましたか。								
評価点								0	0	

総合点	0
行政・協働相手の評価点を合計して算出 (※協働相手の評価が未記入の場合は行政の点数を2倍して算出)	



総合評価				
A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
90～76	75～61	60～46	45～32	31～18

	行政の意見	協働相手の意見
協働によって得られた効果		
協働することで見えた課題や協働相手に対して求めることなど		

# 令和3年度に条例制定及び計画策定した際の参画と協働の実績 1

条例・計画名	委員公募	委員数	女性委員比率 (%)	公募委員比率 (%)	アンケート	アンケート回収率 (%)	担当課
<b>1. 条例</b>		(人)	(%)	(%)		(%)	
広陵町自治基本条例	○	16	31.3	25			協働のまちづくり推進課
広陵町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例							産業総合支援課
<b>2. 計画</b>							
第5次広陵町総合計画	○	12	50	41.7	○	55.8	総合政策課
広陵町地域公共交通計画					○	46	総合政策課
広陵町脱炭素ビジョン（再生可能エネルギー導入計画）	○	7	14.3	28.6	○	38.4	デジタル推進課
広陵町教育振興基本計画					○	92.5	教育総務課
広陵町の文化芸術推進基本計画	○	12	16.7	16.7			生涯学習文化財課
<b>合計</b>		4			4		7

## 令和3年度に条例制定及び計画策定した際の参画と協働の実績 2

条例・計画名	ハブコメ	ハブコメ 提出人数	説明会・ シンポジウム	懇談会・ワー クショップ	ワーキング グループ開催回数	インタビュ	担当課
<b>1. 条例</b>							
広陵町自治基本条例	○	50	○	○	3		協働のまちづくり推進課
広陵町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化の ための固定資産税の課税免除に関する条例							産業総合支援課
<b>2. 計画</b>							
第5次広陵町総合計画	○	16				○	総合政策課
広陵町地域公共交通計画	○	2					総合政策課
広陵町脱炭素ビジョン（再生可能エネルギー導入計画）							デジタル推進課
広陵町教育振興基本計画	○	22					教育総務課
広陵町の文化芸術推進基本計画	○	6		○	3	○	生涯学習文化財課
<b>合計</b>	<b>5</b>	<b>50</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>7</b>



広協ま第84号  
令和4年5月28日

広陵町自治基本条例推進会議会長 殿

広陵町長 山村吉由



(仮称) 広陵町協働のまちづくり推進計画について (諮問)

広陵町自治基本条例推進会議設置規則第3条の規定に基づき、下記の事項について貴会議の意見を求めます。

記

- ・(仮称) 広陵町協働のまちづくり推進計画に関する事